

公益社団法人 日本地下水学会
2013年度 第2回 理事会 議事録

1. 開催日時：2013年6月29日 13:30～17:30

2. 開催場所：日本工営(株) 新麹町オフィス 4F会議室
〒102-0083 東京都千代田区麹町4丁目2番地

3. 理事総数：15人

4. 出席理事数：12人

○：出席，×：欠席

理事	今村 聡	○	理事	今井 久	○
理事	蛭原 雅之	○	理事	川端 純一	○
理事	高坂 信章	○	理事	嶋田 純	○
理事	斎藤 庸	○	理事	谷口 真人	○
理事	杉田 文	○	理事	中島 誠	○
理事	徳永 朋祥	×	理事	平山 利晶	○
理事	中屋 眞司	○	理事	松山 秀明	×
理事	丸井 敦尚	×			

(事務局長 友澤 孝 ○)

5. 出席監事

監事	前川統一郎	○	監事	村田 正敏	○	監事	平山 光信	○
----	-------	---	----	-------	---	----	-------	---

6. 議長の氏名：代表理事（会長） 嶋田 純

定刻に、代表理事 嶋田 純 は議長席につき、上記のとおり定足数にたる理事の出席があったので、13時30分本理事会の開会を宣した。

7. 決議事項に特別の利害関係を有する理事の氏名：該当する理事はいない。

8. 議事録作成者：理事 中島 誠

9. 理事会資料

- 理事会資料－1：公益社団法人日本地下水学会 2013年度第2回理事会 議事次第
- 理事会資料－2：公益社団法人日本地下水学会 2012年度第8回理事会 議事録（案）
- 理事会資料－3：公益社団法人日本地下水学会 2013年度定期代議員総会 議事録
- 理事会資料－4：公益社団法人日本地下水学会 2013年度第1回理事会 議事録
- 理事会資料－5：企画委員会資料
- 理事会資料－6：渉外委員会資料
- 理事会資料－7：調査・研究委員会資料

理事会資料－8：市民コミュニケーション委員会資料

理事会資料－9：広報・IT委員会資料

理事会資料－10：総務委員会資料 第15回日本水大賞、2013年日本ストックホルム青少年水大賞表彰式および受賞活動発表会案内

理事会資料－11：男女共同参画委員会資料

理事会資料－12：総務委員会資料 平成26年度科学技術分野の文部

理事会資料－13：総務委員会資料 国際第四紀学会第19回大会への共催依頼に対する回答文書

理事会資料－14：総務委員会資料 特定非営利活動法人地学オリンピック日本委員会の国際地学オリンピック高校生派遣活動協賛団体加入案内資料

理事会資料－15：総務委員会資料 丸善株式会社からの年間契約雑誌に関する問い合わせ文書

理事会資料－16：総務委員会資料 公益財団法人・公益法人協会 新制度下の運営及び寄附に関するアンケート調査

理事会資料－17：総務委員会資料 入会希望者資料

理事会資料－18：総務委員会資料 学術研究団体調査票

理事会資料－19：行事委員会資料

理事会資料－20：会計委員会資料

理事会資料－21：技術者継続教育担当資料

理事会資料－22：総務委員会資料 地下水に関する専門家照会申請書（案）

【審議事項】

第1号議案：2013年春季講演会における若手優秀講演者賞の受賞者について（松山理事（代理：村田監事）：資料－19）

2013年春季講演会における若手優秀講演者賞の受賞者を以下の3名に決定した。

・工藤圭史（熊本大学大学院）

「比抵抗探査と安定同位体比滞留時間解析に基づく流域貯留構造の比較」

・佐竹駿一（千葉大学大学院）

「飽和チップ材カラムを用いた硝酸イオン除去に関する実験」

・Gaurav SHRESTA（産総研）

「Development of numerical model for the installation of ground-coupled heat pump system」

第2号議案：地下水シミュレーション（実習）講習会の開催（中島理事：資料－5）

地下水シミュレーション（実習）講習会を11月～12月に2日間の予定で（公社）地盤工学会会議室（予定）にて開催することが承認された。

第3号議案：現場調査講習会の開催（中島幹事：資料－5）

現場試験講習会を秋に2日間の予定で（独）産業技術総合研究所（つくば市）にて開催することが承認された。

第4号議案：シンポジウム「地盤沈下の現状から見る今後の地下水管理」（中島幹事：資料－5）

シンポジウム「地盤沈下の現状から見る今後の地下水管理」を11月～12月に1日の予定で日本大学文理学部（予定）にて開催することが承認された。

第5号議案：研究グループの活動期間延長（蛭原理事：資料－7）

「地球温暖化と地下水の水資源評価に向けた課題抽出研究グループ」の活動期間を延長し、本年度より2年間の計画とすることが承認された。

第6号議案：ホームページ（HP）上会長メッセージの更新について（斎藤理事：資料－9）

執行部体制更新を受け、和文HP上の会長メッセージを更新することが承認された。英文HPについては、作成から時間が経っておらず、内容的にも問題がないことから、現状のままとする。

第7号議案：メールニュース配信におけるメーリングリストの利用について（斎藤理事：資料－9）

ニフティのメーリングリスト（一つ当たり経費1,050円/月）を使用し、事務局として一つのメーリングリストを利用することが承認された。

第8号議案：湧水ツアーの開催（今井理事：資料－8）

10月27日（日）に横浜市旭区にて湧水ツアー「帷子川付近の湧水を訪ねて－酸性土壌と湧水水質－」を開催すること、横浜市旭区に後援依頼をすることが承認された。

第9号議案：出張講演相談窓口（出前講座）について（今井理事：資料－8）

学会HPに市民コミュニケーション委員会出張講演相談窓口を開設することおよび講演対応（講師派遣）には学会としての対応が必要であることが承認された。

第10号議案：若手交流会で出された若手会員支援策に関する意見のHPや会誌での公表（中屋理事：資料－11）

若手交流会で出された若手会員支援策に関する意見をまとめ、HPや会誌で公表することが承認された。

第11号議案：若手支援策に関するアンケート結果のHPや会誌での公表（中屋理事：資料－11）

若手支援策に関するアンケート結果をまとめ、HPや会誌で公表することが承認された。

第12号議案：若手メーリングリストの作成（事務局への依頼）について（中屋理事：資料－11）

若手メーリングリストについて、男女共同参画委員会で個別に作成し対応することとする。

第13号議案：外部からの依頼に対する会員会社紹介の対応について（平山理事：資料－21）

営利目的での業務に関連した外部の民間会社・機関からの民間会社・機関等の推薦または紹介等の依頼に対し、依頼者が特別会員のリストを見ることができるようにし、学会が一切の責任を負わないかたちで特別会員を紹介するようにする。

第14号議案：購読会員会費（購読費）について（高坂理事：資料－20）

来年度以降の消費税率アップに対する対応について、現状の購読費（本体価格8,572円（税込9,000円：消費税率5%、税額428円））から、税率は消費税率改定どおりに変更するが定価は変更せず前年どおりの税込価格（9,000円）とすることが承認された。

第15号議案：学会在庫図書の販売価格について（高坂理事：資料－20）

会誌のバックナンバーの価格を2,000円とし、会員外への販売も可とすること、一部の講習会テキストを除き現在の学会在庫図書を無料とすること等を決定し、税込価格での販売価格を決定した。

第16号議案：地下水に関する専門家照会に対する対応について（平山理事、川端理事：資料－22）

外部より本学会に対して地下水に関する専門家の照会があった場合の対応について、時間をかけて検討すべき内容であることから、継続審議事項とする。

【その他報告事項等】

1. 前回議事録：（資料－4）

- ・開催日時の間違いを総務委員会で修正する。

2. 渉外委員会（谷口副会長、杉田理事：資料－6）

- ・5月22日の（公社）日本地球惑星科学連合第8回学協会長会議の議事内容について報告があった。
- ・来年の日本地球惑星連合大会は2014年4月28日（月）～5月2日（金）にパフィシコ横浜で開催され、2015年は幕張メッセで開催される。2016年以降の会場は未定である。
- ・オープンアクセス電子ジャーナル“Progress in earth and planetary science”の編集・運営委員会の審議状況、水関連レター誌の準備状況について報告があった。
- ・「水」分野のレター集を水関連の学会が合同で提案するかどうか、10月末締め切りのかたちで各学会長宛に手紙が送付される予定である。
- ・次回理事会にて編集委員および「水」分野のレター集への対応について検討する。

3. 行事委員会：（松山理事（代理：村田監事）：資料－19）

- ・2013年度春季講演会（5月18日（土）、千葉大学松戸キャンパス）の開催報告。講演38件、講演参加者数138名、懇親会参加者数71名、展示6社、要旨集広告：1社。地下水学術賞受賞者2名（田中正（筑波大学名誉教授）、楡井久（茨城大学名誉教授）の特別講演を実施。
- ・2013年秋季講演会を10月10日（木）～12日（土）に秋田県民会館ジョイナスにて開催する。シンポジウム「秋田の多様な地下水」（仮題）、見学会「男鹿半島の地質と滝の頭湧水等」（仮題）を予定。
- ・2014年春季講演会を東京大学本郷キャンパスで開催するかたちで2014年5月17日、24日、31日（いずれも土）の間で日程調整中であることの報告があった。
- ・2014年秋季講演会を熊本で開催する予定であることの報告があった。
- ・第19回地下水・土壌汚染とその防止対策に関する研究集会（6月13日（木）～14日（金）、京都大学）の開催報告。発表152件、企業展29社、参加者数520名、懇親会参加者数146名。地下水学会コーナーに「CPD登録の案内について」を掲示した。
- ・2013年春季講演会にて行った「ポスターセッションに関するアンケート集計結果」の報告があった。

4. 企画委員会（中島理事：資料－5）

- ・2013年度～2014年度の企画委員会委員構成の報告があった。
- ・会誌特集・小特集の掲載・計画について、小特集「これからの地下水資源の利用のあり方」の会誌第55巻第2号への掲載、特集「地下水流動解析手法の解析精度／検証・確証」の計画・執筆依頼状況の報告があった。
- ・2013年春季講演会にて行った「企画関連事業（講習会、セミナー、シンポジウム、書籍出版）に関するアンケートの結果について」の報告があった。
- ・地下水シミュレーション（実習）講習会の準備状況について、実行委員会の設置、日程調整状況、会誌第55巻第3号への会告掲載予定の報告があった。
- ・現場調査講習会の検討状況について報告があった。
- ・シンポジウム「地盤沈下の現状から見る今後の地下水管理」の検討状況について報告があった。
- ・企画関連事業に対する企画委員会内の役割分担について報告があった。
- ・水循環基本法案の動向を睨み、タイムリーに同法をテーマとしたシンポジウムまたはセミナーの開催を検討することについて報告があった。2014年春頃の開催を念頭に引き続き検討する。
- ・企画委員会の開催状況について報告があった。

5. 編集委員会（徳永理事（代理：蛭原理事））

- ・著作権に関し、春季・秋季講演会の講演要旨の内容をベースに学会のジャーナルに投稿した場合の取り扱いについて、他の学会の状況を編集委員に確認した結果の報告があった。
- ・会誌への学会規約の掲載について、毎年第1号への掲載としているが、役員選挙が行われる年については臨時で第4号にも掲載することについて報告があった。

6. 調査・研究委員会（蛭原理事：資料－7）

- ・「地球温暖化と地下水の水資源評価に向けた課題抽出」研究グループ活動の状況報告があった。
- ・「地下水学の名著を読む」研究グループ活動の状況報告があった。
- ・本年度受託研究の予定について報告があった。
- ・受託研究の諾否が理事会審議事項であることから、契約時期が次回理事会より前となった場合にはメール審議で対応する。

7. 広報・IT委員会（斎藤理事：資料－9）

- ・2013年度～2014年度の広報・IT委員会の委員会構成の報告があった。
- ・学会HPの更新状況について報告があった。特別会員に関する英語版HPの修正、執筆要綱の掲載場所についての編集委員会からの要請に対する対応を行った。
- ・事務局と行事委員会のメーリングリストを一本化することにより問題が生じないかどうか、広報IT委員会にて確認する。
- ・将来的な学会HPのシステム更新に向けての準備（積み立て）を進める必要があり、理事会に随時申し入れることの報告があった。

8. 市民コミュニケーション委員会（今井理事：資料－8）

- ・市民コミュニケーション委員会の活動実績・予定の報告があった。
- ・湧水ツアー「帷子川付近の湧水を訪ねて－酸性土壌と湧水水質－」の準備状況の報告があった。
- ・栃木県尚仁沢の湧水の下見実施報告があった。
- ・市民コミュニケーション委員会HPに出張講演相談窓口を開設したことの報告があった。
- ・市民コミュニケーション委員会の共有データ保管箇所の移行について報告があった。
- ・地下水ブックガイドの進捗状況の報告があった。

9. 男女共同参画委員会（中屋理事：資料－11）

- ・若手支援策に関する意見のまとめやアンケート結果について、学会HP上では掲載から6ヶ月経過したところでヘッドラインから消え、2年間経ったらバックナンバーからも消えるようになっている現状に対し、今後も2年間はバックナンバーに入れていくこととする。
- ・2013年秋季講演会のときに若手の交流会を開催したいと考えていることの報告があった。

10. 技術者継続教育担当（平山理事：資料－21）

- ・CPDの発行状況の報告があった。

11. 会計委員会（高坂理事：資料－15、20）

- ・来年度以降の消費税率アップに対する対応について、本学会は課税売上高が1千万円以下の事業者であり（現在の課税売上高は約600万円）、消費税の納税義務が免除されていること、正会員、準会員、特別会員の年会費は不課税であることの報告があった。
- ・丸善(株)からの年間契約雑誌に関するアンケート調査に対しては、本理事会での消費税率アップに関する議論の結果を事務局より丸善に伝えることとする。
- ・現在の学会在庫図書の販売価格について、地下水流動解析基礎理論講習会テキスト（2007年）、

地下水シミュレーション講習会（実習）配布資料（2011年）のみ2,500円とし、他のシンポジウム・講習会等資料（講演会要旨・会誌以外）は無料とする。

- ・会誌については、購読会員会費（購読費）が9,000円であることを鑑み、2,000円とする。
- ・学会在庫図書の販売促進のため、学会HP上で在庫図書のリストを公開する。

12. 総務（川端理事：資料-10、12~18）

- ・日本水大賞委員会から会長宛に依頼のあった第15回日本水大賞、2013年度日本ストックホルム青少年大賞の表彰式・受賞活動発表会について、今回は欠席した。
- ・平成26年度科学技術分野の文部科学大臣表彰科学技術賞および若手科学者賞受賞候補者の推薦依頼に対し、今回は推薦なしとする。
- ・国際第四紀学連合第19回大会の共催依頼を受諾したことの報告があった。
- ・特定非営利活動法人地学オリンピック日本委員会からの協賛団体加入案内が届いたことの報告があった。
- ・丸善㈱からの年間契約雑誌に関するアンケート調査に対し、本理事会での消費税に関する議論の結果を事務局より丸善に伝えることとする。
- ・「公益財団法人・公益法人協会 新制度化の運営及び寄附に関するアンケート調査」に解説されていた内容をもとに、平成23年度に導入された個人寄附の税制控除制度において本学会が税制控除対象法人に該当せず、寄附者が税額控除の適用対象外であることを確認した。
- ・新入会員入会願（特別会員1社、正会員2名）が提示され、入会を承諾した。
- ・学術研究団体調査票の提出について報告があった。国際会議への派遣にIAH国際会議（オーストラリア/パース）への嶋田会長派遣を追加する。

13. 今後の予定

2013年度 第3回理事会

日時：2013年8月24日 13時30分

場所：日本工営(株) 新麹町オフィス 4F会議室

〒102-0083 東京都千代田区麹町4丁目2番地

以上をもって本日の議事が終了したので、議長は17時30分閉会を宣した。

以上の決議を明確にするため、本議事録を作成し代表理事及び監事が次に記名押印する。

2013年8月24日

公益社団法人日本地下水学会 理事会

代表理事：嶋田 純



監事：前川 統一郎



監事：村田 正敏



監事：平山 光信

